

## 製品/対応プラットフォーム

### ■ Veeam Backup & Replication

仮想環境のバックアップとレプリケーション

vSphere 5.5, 6.x, 7.0 (Free ESXiは非サポート)  
vCloud Director 9.5 – 10.3  
VMware Cloud Foundation VMware Cloud on Dell EMC  
VMware Cloud on AWS Azure VMware Solution  
Hyper-V 2008 R2 SP1, 2012, 2012 R2, 2016, 2019, 2022  
半期チャンネル (1803-20H2)  
Microsoft Windows Server, Microsoft Hyper-V Serverいずれも対応  
Azure Stack HCI  
Microsoft System Center Virtual Machine Manager  
2012 SP1, 2012 R2, 2016, 1801, 1807, 2019

### ■ Veeam Backup for Nutanix AHV

Nutanix AHV仮想マシンのバックアップ

Nutanix AHV 5.5.x – 6.1.x  
Community Edition CE 2019.11.22以降

### ■ Veeam ONE

仮想環境、バックアップ環境の可視化

vSphere 5.5, 6.x, 7.0 (Free ESXiもサポート)  
VMware Cloud on AWS  
vCloud Director 9.5, 9.7, 10.x  
Hyper-V 2008 R2 SP1, 2012, 2012 R2, 2016, 2019, 2022  
半期チャンネルリリースもサポート  
Microsoft Windows Server, Microsoft Hyper-V Serverいずれも対応  
Microsoft System Center Virtual Machine Manager  
2012 SP1, 2012 R2, 2016, 2019  
Veeam Backup & Replication 9.5 Update 4, 10, 11

### ■ Kasten K10 by Veeam

Kubernetesのアプリケーション単位バックアップ

AWS上のKubernetes (Amazon EKSを含む),  
Azure Kubernetes Service (AKS),  
Google Kubernetes Engine (GKE),  
VMware vSphere (Tanzu) ※Veeamリポジトリ連携可能,  
Cisco IKS, DigitalOcean, SUSE Rancher, HPE EZMERAL,  
Nutanix Karbon, kind (Kubernetes IN Docker), k3s,  
その他の認証済みKubernetesディストリビューション

### ■ Veeam Agent for Microsoft Windows

Windowsマシンのエージェントバックアップ

Microsoft Windows  
7 SP1, 8.1, 10長期チャンネル (1507, 1607, 1809),  
10半期チャンネル (1803-21H2), 11 (21H2)  
Microsoft Windows Server  
2008 R2 SP1, 2012, 2021 R2, 半期チャンネル1803-20H2,  
2016, 2019, 2022

### ■ Veeam Agent for Linux

Linuxマシンのエージェントバックアップ

Debian 9.0 – 11.1  
Ubuntu 14.04, 16.04, 18.04, 20.04, 20.10, 21.04, 21.10  
RHEL 6.0 – 8.5 CentOS 7.0 – 8.5  
Oracle Linux 6 – 8.5 (RHCK)  
Oracle Linux 6 (UEK R2以降) – Oracle Linux 8 (UEK R6 U2まで)  
SLES 11 SP4, 12 SP2 – 15 SP3  
SLES for SAP 11 SP4, 12 SP2 – 15 SP3 Fedora 33, 34, 35  
openSUSE Leap 15.2 – 15.3 openSUSE Tumbleweed

### ■ Veeam Backup for AWS

AWS環境のバックアップ

Amazon EC2, Amazon RDS, Amazon Aurora DBクラスタ,  
Amazon EFSファイルシステム, Amazon VPC構成情報

### ■ Veeam Backup for Microsoft Azure

Microsoft Azure環境のバックアップ

Azure VM, Azure SQLデータベース, Azureファイル共有

### ■ Veeam Backup for Google Cloud

Google Cloud環境のバックアップ

Compute Engine VMインスタンス, Cloud SQLインスタンス

### ■ Veeam Backup for Microsoft 365

Microsoft 365環境のバックアップ

Microsoft 365 Exchange Online  
Microsoft 365 SharePoint Online  
OneDrive for Business, Microsoft Teams  
Microsoft SharePoint Server 2016, 2019  
Microsoft Exchange Server 2013, 2016, 2019

## ライセンス体系



### Veeamユニバーサルライセンス (VUL)

- 1ライセンス=10ポイント (年間サブスクリプションライセンス)
- ・1ポイントで1台のデータ保護が可能
- ・環境問わず利用可能
- ・エディションや機能制限はなし
- ・サブスクリプション期間中はクライムサポート込み
- ※コスト高となりますが、永久ライセンスご希望の方は別途ご相談にて対応

### 製品サポート

年間サポートメンテナンス

- ・E-mail、フォーム、電話によるお問合せ対応
- ・日本語使用説明書 (PDFとヘルプファイル)
- ・導入、設計に関する技術相談
- ・ユーザー専用のテクニカルサイト

プリセールスサポート

製品評価版をご利用いただくお客様も、期間中はお問合せ窓口のサポートをご利用いただけます

お電話でのお問合せ ▶ **03-3660-9336** 受付時間 9:00～18:00 (土日・祝日を除く)

# 環境に縛られない! データ保護 災害対策

大規模環境  
に対応

直感的な  
UI

驚きの  
速さ

クライムによる  
安心サポート



クラウド



仮想 物理

- Amazon Web Services
- Microsoft Azure
- Google Cloud Platform
- IBM Cloud

- VMware vSphere
- Microsoft Hyper-V
- Nutanix AHV
- Kubernetes

- Microsoft 365

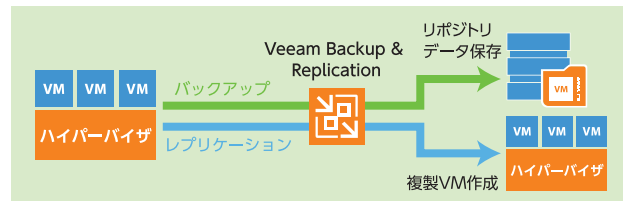
- Microsoft Windows
- Linux



## 仮想マシン

### ■ エージェントレス+2 in 1

- ・ お手軽にバックアップ、HAやDRにレプリケーション
- ・ VMのポリシーに合わせて使い分け可能
- ・ 手間のかかるエージェントなし

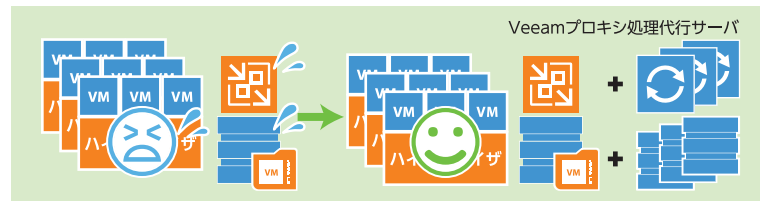


### ■ ストレージスナップショット連携

- ・ アプリケーション整合性のあるハードウェア スナップショットからバックアップ
- ・ vSphere環境の保護を最適化

### ■ 環境に合わせて柔軟に構成、負荷分散

- ・ スケールアップ/スケールアウトで自由にリソース追加
- ・ ソースのレイテンシを基に読み取り負荷をコントロール
- ・ ネットワークの帯域制御



## 物理マシン

### ■ エージェントで柔軟にバックアップ

- ・ 仮想マシン以外もイメージベースでバックアップ
- ・ Veeam Backup & Replicationで統合管理も可能



## アプリケーション対応

### ■ 整合性を保ったオンラインバックアップを

- ・ 仮想でも物理でも各種アプリケーションに最適化した手法で静止点を確保



### ■ アプリケーション側のバックアップ機能とも連携可

- ・ プラグインが自動連携



## NAS (ファイル共有)

### ■ 大量ファイルでも高速なデータ保護、ファイルバージョン(世代) 管理を実現



## Kubernetes (K8s)

### ■ K8s専用のKasten K10データ管理プラットフォーム

- ・ アプリケーション単位でバックアップ、ステートフルにも対応
- ・ コマンドだけでなく、Web GUIでも簡単ポリシーベース管理

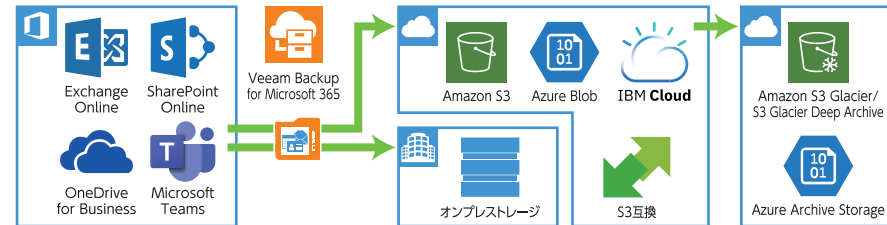


## Microsoft 365

### ■ Microsoft 365に保存されている

メールやドキュメントをオンプレで保護

- ・ オンプレのストレージや任意のオブジェクトストレージにバックアップ



## クラウド

### ■ データの保護はユーザの責任

- ・ パブリッククラウドの保護構成をポリシー管理で簡単に
- ・ スナップショット保持 - AWSクロスリージョン/クロスアカウント対応
- ・ バックアップ保持
- オブジェクトストレージにVeeam形式で保存
- 低コストなアーカイブ用オブジェクトストレージも対応

### ■ 万が一に備えて、ソースのクラウド以外にオンプレミスのストレージやテープ、他クラウドで保護可能



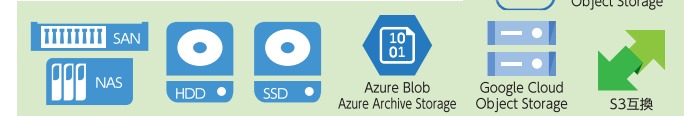
## 保護構成も柔軟に

### ■ バックアップ保存先ストレージを自由に選択可能、重複排除アプライアンスとの連携も

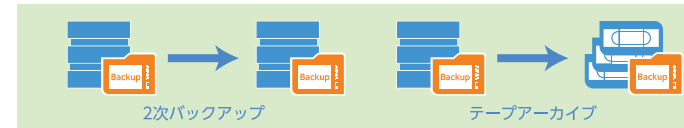
DAS (Windows, Linux) ・NAS (CIFS, NFS) ・SAN (FC, iSCSI)  
重複排除ストレージシステム連携 DELL EMC Data Domain Boost / ExaGrid / HPE StoreOnce Catalyst / Quantum DXi

### ■ スケールアウトリポジトリ

- ・ 複数ストレージを組み合わせる一つの保存先に
- ・ オブジェクトストレージ対応で容量無限大



### ■ 2次バックアップ、テープアーカイブ 災害対策や長期保管も簡単構成

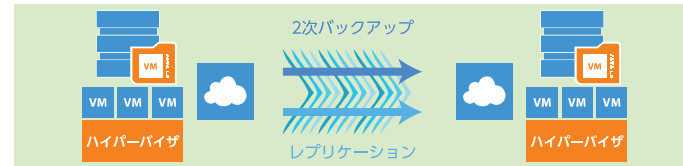


### ■ 組み込みの重複排除、圧縮、暗号化

- ・ バックアップ容量を大幅削減!
- ・ 暗号化で安全に、パスワード復旧も可能



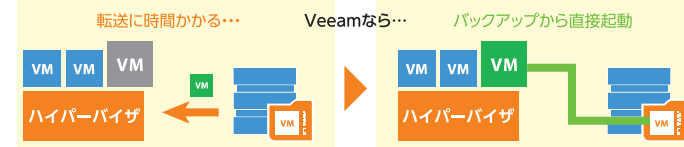
### ■ 低帯域でも遠隔地保護を、WAN高速化



## 柔軟なリストア、アプリケーション復旧

### ■ インスタントリカバリ

- ・ 大容量VMでも数分で起動!
- ・ 起動したままデータ復旧も可能



### ■ ファイルリストア

- ・ 様々なファイルシステムに対応

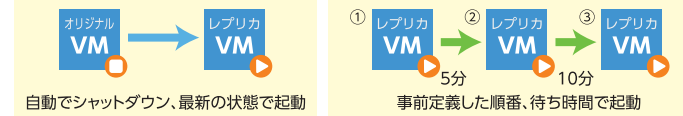
Windows : NTFS, FAT, FAT32, ReFS  
Linux : ext2, ext3, ext4, ReiserFS, Btrfs, JFS, XFS  
Mac : HFS, HFS+  
BSD : UFS, UFS2  
Solaris : ZFS, UFS  
MicroFocus OES

### ■ Amazon EC2, Azure 仮想マシン, Google Cloud Compute Engineとしてリストア



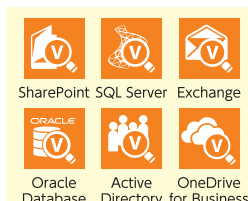
### ■ フェイルオーバーも柔軟に

- ・ 移行に便利な計画済みフェイルオーバー
- ・ 復旧を半自動化フェイルオーバープラン



### ■ アプリケーションアイテム

- 下記のようなオブジェクト単位で簡単復旧
- ・ OracleやSQL Serverデータベース
- ・ Exchange メール
- ・ SharePoint ドキュメント
- ・ ADのユーザ、グループなど



### ■ Webポータルでセルフサービス機能を提供

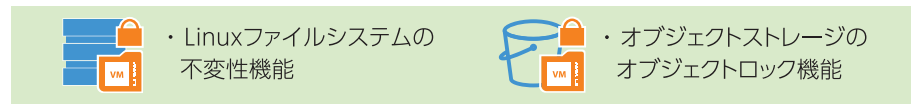
- ・ バックアップ、リストアをVMオーナーに委任
- ・ vCenter / vCD / AD連携で権限設定も簡単



## ランサムウェア対策も可能なセキュア機能

### ■ 堅牢化リポジトリ、不変性機能連携

- ・ 一定期間、バックアップの不変性を保証、削除、変更等の改ざんできない状態に



### ■ セキュアリストア

- ・ リストア前にウィルススキャン Windows Defender Symantec ESET等々



### ■ Veeam® DataLabs™

- ・ OS、アプリケーションの整合性チェック
- ・ アップデート、パッチ適用テスト
- ・ トレーニング環境として利用
- ・ 個人情報の削除 (GDPR対応)



## 仮想環境、データ保護の可視化・最適化: Veeam ONE

